

※クリックすると記事のページを開きます。

- ① ラオス国立大学からの受入留学（2017-18年）： 長期交換留学生として日本に留学して 2
- ② ラオス国立大学からの受入留学（2018-19年）： 東京外国語大学に留学した体験 4
- ③ 山形スタディツアー参加報告（2020年1-2月） 6
- ④ ISEP生の留学終了報告（2019年9月-2020年7月）： 東京外国語大学に留学していた時の感想と体験
..... 9
- ⑤ ISEP生の留学終了報告（2020年10月-2021年7月）： 東京外国語大学でのオンライン留学 11

① ラオス国立大学からの受入留学（2017-18年）：

長期交換留学生として日本に留学して

ラオス国立大学文学部日本語学科

ヴォンカムチャン・スーヴェニア

私はヴォンカムチャン・スーヴェニアです。ラオス国立大学で勉強しています。今回、初めて海外で勉強することになり、東京外国語大学で ISEP 2017-2018 学生として、1 年間いろいろな経験をしました。

私にとっては何もかも初めてだったのでいろいろ心配していました。まず、一人で住むのが初めてでした。最初はとてもさびしかったです。また、料理など、なんでも自分でやらないといけません。ラオスは暑い国です。雪も降らないので、日本に来てから初めて雪をみました。ラオスと日本では気候だけではなく習慣も全然違います。日本の生活に慣れるのはとてもたいへんでした。

つぎに、勉強について言うと、私はラオスでは日本語学科で勉強しています。しかし、私の国では日本語を使う機会がありません。授業中に練習したり、日本人の先生と話したりするときだけです。だから、東京外国語大学に来てから日本語をたくさん使い会話をしました。これはとてもいい機会でした。東京外国語大学では日本語のレベルでクラスがわかれています。私は 400 レベルのクラスで勉強しました。このクラスで、私はより一層日本語の勉強に励みました。例えば、日本語の難しい単語がわかるように説明を受けたりしました。また、このクラスにはいろいろな国からの留学生がいました。私は、初めて他の国の留学生と勉強するという経験をしました。言葉や文化が違うため少し緊張しましたが、うまく行きました。少しずつ他の国の文化や考え方がわかってきました。

このクラス以外に日本人と一緒に勉強する授業もあります。これも面白い科目だと思います。私はこの授業で日本人の



東京外国語大学キャンパス内



外語祭にて

考え方や勉強の仕方を学ぶことができました。同時に、この授業の中で日本の歴史も詳しく知りました。この大学の先生の教え方はとても分かりやすいです。この大学に来られてうれしく思います。授業以外にも、この大学はいろいろなイベントもあり、それを楽しむことができました。もし将来また日本で勉強することができたら東京外国語大学で勉強したいと思います。

もう一つ、日本に来てよかったのは北海道へ行けたことです。以前から北海道の雪祭りを見に行きたかったので今回、夢がかなえられました。いろいろな雪の像を見ることができました。とてもきれいでした。とてもいい機会でした。機会があればまたいろいろな日本の場所を旅行したいです。



初めてのスキー

② ラオス国立大学からの受入留学（2018-19 年）：

東京外国語大学に留学した体験

ラオス国立大学文学部日本語学科

スイウドムパン・ティップワン

こんにちは。私はラオス国立大学のスイウドムパン・ティップワンと申します。東京外国語大学の ISEP 2018～2019 交換留学生として一年間留学しました。留学生活では様々な経験をして、良い体験になりました。

まず、今回は初めての海外留学であったため、困ったことがたくさんありました。当初、日本の季節や日常生活のスタイルをあまり知らなかったのも、大変でした。私の国のラオスでは、一年中暑い国なので、日本の寒さにおどろきました。雪もはじめて見ました。それにラオスにはあまり台風も地震もありません。来日してすぐに台風が来て、風も雨も激しくて、怖かったです。

日本に来て、大学の寮ではじめて一人暮らしをしました。一人で色々なことをしなくてはならないのもとても大変でした。特に、自分で料理を作ったり、洗濯をしたりすることでした。それに、家族や友だちと別れてホームシック(Homesick)になりました。さびしいときは、家族に電話をかけると、元気になりました。しかし、時間が経ってだんだん慣れてきました。日本の色々なことや日本の生活などについて学んでだんだん分かってきたら、日本での日常生活はとても楽しくなりました。

つぎに、東京外国語大学で勉強したことについて紹介します。私は 400～500 レベルの日本語のクラスでした。先生の教え方は分かりやすかったです。クラスメート

も外国から来ていましたが、だいたいヨーロッパ人が多かったです。もちろん文化も違いますが、文化が違って、大学での授業や生活の中で、たくさん新しい友だちを作り、私たちも異文化を交換することができました。さらに、大学では勉強す



大学の賑やかな外語祭



着物を着ました

ることだけではなく、様々な活動もありました。特に、一番人気があるのは毎年の外語祭です。その時は色々な国の料理があつて、たくさん人も来ました。とても楽しく、賑やかでした。日本に留学して、日本語を勉強するだけではなく、日本の生活や文化など特に茶道や着物の着方や生け花などの文化活動もしました。日本文化は繊細で、優しく美しい文化だと思いました。特に、日本人のマナーが一番大切な文化の一面だと思いました。

日本に一年間留学していた間に、楽しいことも、苦しいこともありました。色々な体験をして、挑戦をしたことは一番大切なことだと思いました。大学の活動以外の活動にも参加しました。特に、ボランティアとして小学校の行事に参加したり、ホームステイをしたり、日本の色々な綺麗な場所に行ったりしました。日本に来る前は富士山を見たいと思っていました。やっとホームステイに行った時、本物の富士山を見ることができました。とても感動しました。



ホームステイの時、富士山を見ました

私にとって海外に留学するのは子供時代からの夢で、今回日本に留学することができ、夢が叶いました。とても嬉しかったです。今回、日本に一年間留学して色々な経験を得て、挑戦をして、いい機会でした。毎日日本語を使っていたので、新しい言葉を知って、聴解力は前より良くなったと思います。また、今までよりは日本語が話せるようになりましたが、もっと上手く日本語を話したいと思います。もし機会があれば、日本でもっと勉強したいと思います。

このような機会を私にくださって、どうもありがとうございました。

③ 山形スタディツアー参加報告（2020 年 1-2 月）

本学の冬学期集中講義「インバウンド推進・地域活性化のためのスタディツアー」に本事業の長期受入学生が参加しました。このスタディツアーは山形県及び山形県 4 市町(寒河江市・白鷹町・高畠町・飯豊町)との相互協力協定により年 2 回実施されています。2019 年度冬学期のツアーは寒河江市と高畠町で実施され、受入学生は高畠町のツアーに参加しました。このスタディツアー全体の日程は以下の通りです。

日時	内容
12/26（木）	事前学習 1：山形県東京事務所による山形県の説明など
1/17（金）	事前学習 2：JTB グローバルマーケティング&トラベル（テーマ：インバウンドの現状と問題点）と JETRO（テーマ：日本企業の海外進出）による講義など
1/29（水）	本学出発、高畠町到着
1/30（土）～ 2/3（月）	JETRO 連携ワーク：米鶴酒蔵と後藤酒造の見学とワークショップ（日本酒の海外販売戦略の立案）、昭和縁結び通り商店街の見学とフィールドワーク（商店街活性化に向けたポスター作成）
2/4（火）	地元報告会
2/19（水）	事後全体報告会：スタディツアーの活動内容・課題解決型学習の成果報告（企業や自治体への提言）、各自治体（寒河江市と高畠町）関係者からのコメント

参加したラオスからの交換留学生の体験報告が届きました。詳細は以下をご覧ください。

世界展開力強化事業（ASEAN）コーディネーター

寺井淳一記

高畠町山形スタディツアーの感想

2020 年 1 月 29 日～2 月 4 日

2019-2020 年度交換留学生

サイソムペン・ニラミット

1. 今回のスタディツアーに参加した動機

このスタディツアーは、東京外国語大学と山形県との国際化の推進に関する相互協力協定にもとづき、日本人学生と留学生在が山形県内の各自治体に 8 日間滞在し、地域産業の体験や観光資源の促進、地元住民との交流を目的として行われた。今回のスタディツアーは高畠町で実施された。



スタディツアーの仲間との集合写真

高畠町は、ブドウやお米、お酒の醸造など、農業の盛んな町として知られている。一方、私の母国ラオスの主な産業も農業だ。そこで私は同じような産業を基盤としている町について学びたい、さらには将来の仕事のために経験を積みたいと思い、このスタディツアーに参加した。

2. 後藤酒造の見学など

山形スタディツアーでは、予想よりも様々なことをやることができた。例えば、高畠町にある酒造見学である。私たちは二つのグループに分かれた。第 1 グループは米鶴酒造を、第 2 グループは後藤酒造を見学した。私は後藤酒造を見学することになった。工場ではお酒の作り方の体験や工場の歴史について学んだ。



お酒の作り方を教えてもらい、

自分で体験

この工場の特徴は、お酒の質を高めるために良いお米にこだわっているということだ。工場長のお話では、皆に知ってもらいたい、なかでもアメリカやヨーロッパなどに販路を広げたいということだった。そこで私たちのグループは、その課題について、工場長に提案できるような対策をグループワークで検討した。



工場長とワークショップ



ワークショップ（左）と出来上がったポスター（右）

そのほかには町の代表の方たちに会って、この町の祭りである「ごんぼまつり」についてインタビューした。町長さんによれば、「祭りが開かれるこの道は昔、「中央通り」だったが、30 年前に「昭和縁結び通り」になった。最近では、若者が都会に移り、高齢者だけがこの地に残っている。それでこのお祭りもだんだん活気がなくなってきた。また、建物も日を追うごとに古びてきた」ということだった。そこで私は「どうしたらこの町に関心を持ち、観光客が訪れるようになるか」をテーマにし、いただいた情報をもとにポスターを作成した。

そしてワークショップの最後の日に発表した。

3. スタディツアーの感想

このスタディツアーを通じて、地方の生活を体験できた。外国人にあまり会ったことのないおばあさん達がとても親切で、郷土料理をお腹一杯になるまでご馳走してくれて、心がとても温まった。また、今回初めてお酒の工場を見学した。私の専攻は日本語だが、他の国の友人と一緒に市場調査のようなことを学ぶこのスタディツアーは、自分にとってとても大変だった。時折、自分には無理なのでは、と思うこともあったが、頑張って最後にはよい成果報告ができた。このこと



高島町の景色が見える山の上で撮った集合写真

(右から3 番目が筆者)

は、将来の自分の仕事のためにとてもよい経験になった。また、毎晩友達と一緒に晩御飯を作って食べ、夜遅くまでおしゃべりをしたことは忘れられない思い出となった。

④ ISEP 生の留学終了報告（2019 年 9 月-2020 年 7 月）：

東京外国語大学に留学していた時の感想と体験

ラオス国立大学文学部日本語学科

ボンセーンケオ マノリー

皆さん、こんにちは！私はマノリーと申します。東京外国語大学に ISEP2019 - 2020 で留学していた留学生です。本日は留学していた時の感想と体験について紹介したいと思います。

まず、感想について紹介します。最初は困難なことにたくさん出会いました。例えば、ラオスと違う生活習慣、違う文化、加えて、自分の日本語がまだ上手ではなかったことなどです。しかし、日本の生活に慣れてくると、住んでいるところや食べ物は清潔で、日本の交通もとても便利でした。それに、先生と友達はさまざまなことをいつも手伝ってくれて、問題があったときには解決し、いいアドバイスをくれました。また日本人の友達はいつも日本語のレポートをチェックしてくれました。それらのことが私にはうれしく、先生や友達のおかげで 1 年間安心して日本で過ごすことができました。それらに加えて多くの外国からの新しい友人をつくることができました。その友達から、その国の文化を学び、交流したことは私にとって意義深いことでした。今回の留学の甲斐あって、自分の視野や知識の幅を広げることができたように感じています。

続いて、体験したことについて紹介します。まずは日本の天気についてです。みなさんもお存じの通り、日本の天気は変わりやすいです。留学して最初の月に大きい台風がきました。その時、台風だけではなく、地震も起きました。日本では頻りに地震が起きますので、意識して気をつけなければなりません。台風と地震を同時に体験したことは私にとっては初めての経験でした。貴重な体験の 1 つだったと思います。

次に勉強やその他の活動について紹介します。みなさんもお存じの通り、2020 年春学期は新型コロナウイルスの影響を受け、オンライン授業で日本語を学びました。最初は ZOOM の使い方があまり分からず、とても大変でしたが、使い始めて 1 か月後ぐらいするとオンライン授業に慣れることができました。留学が終わり、ラオスに帰国した後は、ZOOM を使いたい後輩たちに使い方を説明し、助けてあげることができました。いい経験になりました。また、私の日本語も前より上手に

なりました。より豊かな表現ができるようになり、会話も流ちょうになりました。

もう1つ、皆さんに伝えたいことは、たくさんの行事に参加したことです。各行事にはそれぞれ違った楽しさがあり、違った学びや体験がありました。その中でも私にとっていい思い出となった行事は、大学の近くにある小学校で行われたハロウィンです。小学生たちが列になって、おいしいお菓子をもらうために一生懸命歩きました。皆、自分のハロウィンの衣装を着ました。私も初めてコスプレをしました。その活動はとても楽しく、ハロウィンの衣装を着た小学生たちもとても可愛かったです。こうした行事は子供たちにとって大切だと思いました。私自身もこの行事に参加できてとても嬉しかったです。

一年間東京外国語大学に留学したくさんことを経験しました。初めて長い時間を外国で過ごすことができ、とても満足していますし、人生において貴重な経験だったと感じています。また、機会があれば、日本に来て、新たな体験をしたいです。ありがとうございました。



ハロウィン

⑤ ISEP 生の留学終了報告（2020 年 10 月-2021 年 7 月）：

東京外国語大学でのオンライン留学

ラオス国立大学文学部日本語学科

トーンワン インタボン

私は日本語を勉強し始めた時から日本に留学したいと思いました。ですから、日本語を頑張って一生懸命勉強しました。三年もかかりましたが、ようやく日本に留学できるようになりました。2020 年の秋学期に日本に行く予定でしたが、残念ながら、コロナの影響で日本に行くことができませんでした。春学期に日本に行けることを期待して、ラオスからオンライン授業に参加して勉強することにしました。春学期になってもコロナの状況はまだ改善されていませんでしたが、機会が与えられたので、最後まで頑張った方が良くと思い、春学期もオンライン授業に参加して勉強続けました。

東京外国語大学で学習して、様々な新しい体験をしました。今回、習得した体験は他ではえられなかった体験です。

一つ目は自分で問題を解決する方法を学びました。どういう問題かという、初めてオンラインシステムで勉強するので、いろいろな問題が起こりました。例えば、インターネットの問題や、コンピューターのスキルの問題などです。インターネットやコンピューターを使うことはまだまだですが、オンライン授業で ZOOM、Moodle、Google Classroom などの使用方法が良く分かるようになりました。また、日本語でのコミュニケーションの問題もありました。私の日本語力はまだ十分ではないので、授業中に先生の話をよく聞きとるようになるために、毎日日本語を頑張って練習しなければなりませんでした。その結果、日本語が上達しました。

二つ目は外国の友達ができました。ZOOM で勉強しているのに、皆は真面目に勉強して実際の教室の雰囲気のように感じられます。日本語と日本の文化を勉強するだけではなく、日本の社会の勉強にもなりました。特に、日本の世界についての考え方を知ることです。例えば、「つばさ」という教科書に載っている本文の内容に表れています。また、本文の内容からの問題に対して外国の友達と意見を交換できました。その上、外国の文化を学んだり、外国の友達の勉強方法を知ったり、自分の国の文化を教え合うこともできました。外国の友達ができただけで、異文化の国の人々との良好な人間関係を保つことを学びました。とても勉強になりました。

三つ目は自分の将来の目標が明確になりました。日本に留学することは、私が長い間持っていた夢でした。以前は日本で留学できたらいいなと思っていたのですが、どれだけいいのか詳しく分かりませんでした。どんな障害を乗り越えていくのか、

どのように日本で暮らすのか、日本で勉強する方法、社会や友達と仲良くする方法が分かりませんでした。しかし、今回は日本に行けず、日本で暮らすことができなくても、日本で留学することを深く理解できました。もし機会があれば、また日本に留学したいと思います。

上記の経験に加えて、まだ自分で改善しなければならないことがたくさんあると思います。日本語でコミュニケーションを良くできるようになることです。つまり日本語能力を向上させることです。最近、少しだけ日本語でコミュニケーションができますが、すべてのことを理解するために十分ではないと思います。または、相手に何か伝えたいことがたくさんありますが、すべて言うことができず、相手に誤解させる場合もあるかもしれません。ですので、私はもっと頑張って日本語を向上させるようにします。

自身の欠点を知ることは成功に必要なものだと思います。もし自分の欠点を知らなかったら、自身を改善することは難しく思います。

この学習体験は、私にとってとても良い体験で、一生忘れられない体験です。どこでも買えない体験で将来の目標につながる架け橋になると信じています。

将来、私は日本の会社に就職するか、もしくは日本語に関係する仕事に就きたいと思っています。また、その経験を活かすことでラオスの若者や日本に興味を持つ人に日本の文化や日本語を広めて、日本とラオスの友好関係をさらに強くしたいと考えています。

最後に、東京外国語大学の先生方に感謝いたします。このチャンスを下さり、いつもアドバイスを下さり、いろいろとお世話になり、心から感謝いたします。

どうもありがとうございました。



オンライン授業の様子（1行目右から2番目が筆者）



ラオスにて